

第3章 事業概要

I 総務・地域保健推進担当

1 免許

(1) 厚生労働大臣免許申請等取扱件数

平成27年度

	免許申請	書換え申請	再交付申請	登録抹消申請
医師	18	8	1	1
歯科医師	9	7	2	1
保健師	60	30	2	—
助産師	3	5	—	1
看護師	352	141	15	1
理学療法士	104	9	—	—
作業療法士	36	6	1	—
視能訓練士	7	2	—	—
臨床検査技師	24	19	5	—
衛生検査技師	—	1	—	—
診療放射線技師	25	6	—	—
薬剤師	62	29	2	1
管理栄養士	71	22	1	—
歯科技工士	1	—	—	—
合計	772	285	29	5

(2) 知事免許申請等取扱件数

平成27年度

	免許申請	書換え申請	再交付申請	登録抹消申請
製菓衛生師	9	—	—	—
准看護師	38	22 (8)	8 (5)	—
調理師	247	25	15	2
クリーニング師	2	—	—	—
栄養士	158	45	2	—
登録販売者	58	6	1	—
合計	512	98 (8)	26 (5)	2

注) 准看護師の()は、他県知事免許取扱件数の再掲

2 医務

(1) 医療施設数及び病床数

平成28年3月31日現在

種別 市別	病 院		一 般 診 療 所			歯 科 診 療 所	助 産 所		施 術 所		歯 科 技 工 所
	施設 数	病床 数	施設 数 (再掲) 有床診療所	病床 数	施設 数 (再掲) 出張専業		施設 数 (再掲) 出張専業				
朝霞市	4	572	74	4	35	69	7	2	185	63	19
志木市	2	198	35	1	4	36	—	—	95	20	11
和光市	5	1,102	33	—	—	29	2	1	72	27	5
新座市	6	937	68	3	31	58	6	3	192	61	35
富士見市	5	616	63	6	82	52	—	—	160	49	17
ふじみ野市	3	531	69	2	13	53	3	3	163	60	13
三芳町	4	1,025	16	—	—	12	—	—	33	13	4
管内計	29	4,981	358	16	165	309	18	9	900	293	104

(2) 立入検査

管内の29病院及び3有床診療所を対象に、適正な医療が確保されることを目的として、平成27年9月から平成27年12月までの間に実施した。

(3) 届出医療関係者数（従業地・市別）

平成26年12月31日現在（隔年調査）

種別 市別	医 師	歯科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士
朝霞市	152	98	211	49	9	524	222	106	15
志木市	39	47	98	19	1	130	67	49	3
和光市	175	46	123	22	31	576	117	38	3
新座市	159	83	232	44	17	590	183	63	40
富士見市	125	83	212	31	28	432	181	89	20
ふじみ野市	101	79	179	37	14	418	226	76	7
三芳町	57	10	86	12	—	370	169	8	4
管内計	808	446	1,141	214	100	3,040	1,165	429	92
埼玉県	11,503	5,177	14,190	1,878	1,412	41,184	14,232	5,197	1,155

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

県医療整備課「平成26年医療関係従事者届集計結果」

注) 医師・歯科医師・薬剤師数は医療に従事していない者を含む。

3 管内の救急医療体制（平成28年4月1日現在）

本県の救急医療体制は、外来医療を必要とする軽症の救急患者に対応する初期救急医療、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応する第二次救急医療、さらに、重篤な救急患者に対応する第三次救急医療という重層的な体制を整備している。

朝霞保健所の管内においては、朝霞市、志木市、和光市及び新座市が朝霞地区第二次救急医療圏を構成し、富士見市、ふじみ野市及び三芳町が、川越市及び川島町と川越地区第二次救急医療圏を構成している。

（1）初期救急医療体制

ア 朝霞地区（朝霞市、志木市、和光市、新座市）

- ・在宅当番医制……朝霞地区医師会
- ・新座市休日歯科応急診療所
- ・開業医による拠点病院支援事業……朝霞地区医師会
 - *小児科のみ独立行政法人国立病院機構埼玉病院で実施

イ 東入間地区（富士見市、ふじみ野市、三芳町）

- ・東入間医師会休日急患診療所（ふじみ野市）
 - *休日・祝日のみ実施 平日夜間は小児科のみ実施
- ・東入間医師会第二休日診療所（富士見市）
 - *休日・祝日のみ実施

（2）第二次救急医療体制

ア 朝霞地区（朝霞市、志木市、和光市、新座市）

（7）病院群輪番制病院運営事業（9病院）

朝霞中央総合病院、朝霞厚生病院、塩味病院（朝霞市）
TMG宗岡中央病院（志木市）

独立行政法人国立病院機構埼玉病院、坪田和光病院（和光市）

新座志木中央総合病院、高田整形外科病院、堀ノ内病院（新座市）

（4）小児救急医療支援事業（2病院）

イムス富士見総合病院（富士見市）

独立行政法人国立病院機構埼玉病院（和光市）

イ 東入間地区（富士見市、ふじみ野市、三芳町）

（7）病院群輪番制病院運営事業（6病院）

イムス富士見総合病院、みずほ台病院、三浦病院（富士見市）

上福岡総合病院（ふじみ野市）

イムス三芳総合病院、三芳野病院（三芳町）

（4）小児救急医療拠点病院（1病院）

埼玉医科大学総合医療センター（川越市）

*富士見市、ふじみ野市、三芳町を含む川越地区で1病院が実施

(3) 第三次救急医療体制

埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター（川越市）
防衛医科大学校病院救命救急センター（所沢市）
さいたま赤十字病院救命救急センター（さいたま市）
深谷赤十字病院救命救急センター（深谷市）
川口市立医療センター救命救急センター（川口市）
獨協医科大学越谷病院救命救急センター（越谷市）
埼玉医科大学国際医療センター救命救急センター（日高市）

(4) 埼玉県広域災害・救急医療情報システム

埼玉県救急医療情報センター（さいたま市：埼玉県県民健康センター内）

(5) 救急告示医療機関

ア 朝霞地区（朝霞市、志木市、和光市、新座市：9病院）

朝霞台中央総合病院、朝霞厚生病院、塩味病院（朝霞市）

TMG宗岡中央病院（志木市）

独立行政法人国立病院機構埼玉病院、坪田和光病院（和光市）

新座志木中央総合病院、高田整形外科病院、堀ノ内病院（新座市）

イ 東入間地区（富士見市、ふじみ野市、三芳町：9病院・1診療所）

イムス富士見総合病院、みずほ台病院、三浦病院、さくら記念病院、栗原医院（富士見市）

上福岡総合病院、三芳野第2病院、富家病院（ふじみ野市）

イムス三芳総合病院、三芳野病院（三芳町）

4 統計

(1) 人口動態調査票取扱件数

平成27年度（件）

区分	出生票	婚姻票	離婚票	死亡票	死産票	合計
朝霞市	1,283	797	218	861	11	3,170
志木市	630	366	120	488	11	1,615
和光市	793	576	129	441	10	1,949
新座市	1,274	661	241	1,203	20	3,399
富士見市	955	517	176	947	55	2,650
ふじみ野市	969	441	151	929	10	2,500
三芳町	235	117	63	382	2	799
管内計	6,139	3,475	1,098	5,251	119	16,082

*平成27年度内の送付件数とする。

(2) 統計調査

名 称	調 査 の 目 的	調 査 基 準 日 調 査 実 施 数
国民生活基礎調査 (世帯票)	国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定する。	平成27年6月4日 4地区156世帯
出生動向基本調査	結婚ならびに夫婦の子どもの産み方に関する実情と背景を調査し、関連諸施策ならびに将来人口推計をはじめとする人口動向把握に必要な基礎資料を得る。	平成27年6月25日 3地区64世帯
国民健康・栄養調査	国民の身体の状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得る。	平成27年11月上旬 1地区 6世帯 11名

5 衛生教育

衛生教育は、地域保健に関する意識の啓発及び地域住民の健康の保持、増進を目的として実施するものである。実施形態としては、保健所が自ら企画、実施するもののほか、市町、地区組織等の依頼により実施するものなどがある。

平成27年度

	感染症	精 神	母 子	難 病	栄養・ 健康 増進	歯 科	医事・ 薬事	食 品	環 境	その他	合 計
実施回数 (回)	2	6	5	2	—	—	—	24	2	—	41
出席人数 (人)	35	52	118	166	—	—	—	1,765	102	—	2,238

6 研修医・実習生等の受入状況

研修医・実習生等を下表のとおり受け入れ、講義、見学、実習等により指導を行った。

	受入元	実習期間	一人当たりの実習日数	人数
臨床研修医	さいたま赤十字病院	平成27年10月26日(月) ～30日(金)	5日	2名
	国立保健医療科学院	平成27年11月10日(火)	1日	1名
	明海大学歯学部附属病院	平成27年10月29日(木)	1日	2名
看護科学生	西武文理大学 看護学部看護学科	平成27年5月25日(月) 26日(火)～29日(金)、 6月1日(月)～5日(金)	6日	4名
	目白大学 看護学部看護学科	平成27年5月25日(月) 6月8日(月)～12日(金)、 15日(月)～19日(金)、 22日(月)～26日(金)	1日	6名
		6日	7名	
	日本保健医療大学 保健医療学部看護学科	平成27年5月25日(月) 7月13日(月)～17日(金)	6日	2名
上福岡高等看護学院	平成27年6月19日(金)	1日	32名	
栄養科学生	女子栄養大学 栄養学部実践栄養学科	平成27年5月25日(月) 10月20日(火)～23日(金) 26日(月)～30日(金)	10日	3名
	十文字学園女子大学 人間生活学部食物栄養学科	平成27年5月25日(月) 10月20日(火)～23日(金)	5日	3名
薬科学生	管内薬局実務実習生	平成27年5月25日(月)	1日	22名
医学部生	新潟大学医学部医学科	平成27年9月16日(水)～ 17日(木)	2日	1名

7 朝霞保健所管内保健衛生業務研究会

保健所と管内7市町相互の密接な連絡協調により事務の円滑な執行を図り、地域住民の公衆衛生の向上に寄与することを目的に、保健所と管内7市町の保健衛生活動を担当する職員によって組織し、各部会ごとに活動している。

(1) 保健師部会

開催日	内 容	会 場
H27. 9. 1	管内県・市町保健師連絡調整会議 ・管内市町の保健師配置状況と現任教育の課題について (情報共有+意見交換)	朝霞保健所
H28. 1. 29	管内新任期保健師現任教育研修会 講義 テーマ「効果的な支援のための面接の基礎 ～情報を最大限に活用するために～」 演習 模擬事例での「相談」、「情報整理」、「見立てと支援方針の検討」 講師 埼玉県立精神保健福祉センター 地域支援担当 主査 藤平 百合子 氏	朝霞保健所

(2) 事務部会 (入間東部地区)

開催日	内 容	会 場
H27. 10. 8	平成27年度 2市1町地域医療連携会議について	富士見市健康増進センター
H27. 11. 6	平成27年度 2市1町地域医療連携会議について	富士見市健康増進センター
H27. 11. 18	平成27年度 2市1町地域医療連携会議 (首長、東入間医師会)	東入間医師会館
H28. 2. 15	がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針の改正について	富士見市健康増進センター

(3) 母子保健部会 (入間東部地区)

開催日	内 容	会 場
H27. 4. 6	高齢者肺炎球菌及び日本脳炎特例者の周知について	富士見市健康増進センター
H27. 9. 8	高齢者インフルエンザについて	富士見市健康増進センター
H28. 1. 26	平成28年度予防接種説明書等について	富士見市健康増進センター

(4) 成人保健部会（入間東部地区）

開催日	内 容	会 場
H27. 4. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診等の受診票作成について ・がん検診等実施の手引き・配布物の見直しについて ・がん検診開始までの事務作業スケジュールの確認 <p style="text-align: right;">他</p>	富士見市健康増進センター
H27. 7. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診・乳がん検診の個別化について ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた対応について 	富士見市健康増進センター
H27. 10. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度成人検診の実施について ・平成26年度の健診結果集計について ・胃がんリスク検診の問題点について ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた対応について 	富士見市健康増進センター
H28. 1. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度検診の報告について ・平成28年度の検診に向けて ・胃がんリスク検診の問題点について ・指針の改定について 	富士見市健康増進センター

